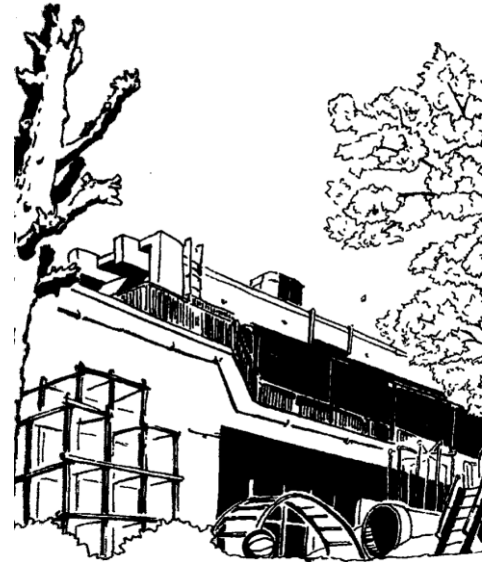


子どもたちの声 きこえますか

「ハコモノ」じゃないよ。「タカラモノ」。

市内の公立保育園を全廃する。東久留米市は、全国にも例のない仰天計画を進めています。9月議会では、その第1弾として、しんかわ保育園の廃園条例の提出が狙われています。2年前の発表以降、合計で1万人を超える反対署名が届いても、計画は一切変更なし。パブリックコメント（意見公募）すらありません。8月5日の市民説明会で「市民の声を聞け」「市の責任放棄だ」と抗議の声があがっても、2日後には条例案を庁議で決定しました。

市民の「タカラモノ」を全廃するのに、これほど市民の声を聞かずに突き進む。そんな社会でいいと子どもたちに胸をはれるでしょうか。



公立保育園全廃差止訴訟に向けて

緊急 シンポジウム

日時 **9月16日** 日 午前9時半 開場
午前10時 開会

場所 **東久留米市 商工会館** 幸町3-4-12

パネリスト 所沢「育休退園」訴訟で実質勝利

原和良 弁護士

保育政策のスペシャリスト

垣内国光 元明星大学教授

横浜市立保育園民営化訴訟原告団代表

佐藤正勝 ほうんネット

他、保護者・元保育士

主催 しんかわ保育園父母会
連絡先 鎌塚 080-2090-7958

